



復興支援活動♪



アカペラ・カルテット XUXU

☆大船渡市×XUXU 軌跡☆

2009年7月 地域応援ソング「オラ!サンマ!」制作

2009年9月 大船渡サンマ祭りにて初披露

第一回さんりく・大船渡さんまつり in 東京タワー開催

2009年11月 さんりく・大船渡ふるさと大使に就任

2010年7月 「ようこそ大船渡へ!」市役所HPのBGMに起用される

2010年8月 大船渡市民文化会館リアスホールにて単独コンサート

2010年9月 第二回さんりく・大船渡さんまつり in 東京タワー開催

2010年末 2011年3月全国椿サミット大船渡大会へ向け椿のうた制作開始

(2011年3月11日 東日本大震災)

2011年3月 全国椿サミット大船渡大会中止 / 「Camellia~椿のうた~」CD販売による支援活動を開始

2011年5月 大船渡市内の幼稚園・小学校・仮設住宅・老人介護施設等での応援コンサート開始

¥238,000(CD売上238枚分)を大船渡市役所へ寄付。

2011年8月 大船渡夏祭り出演

¥451,000(CD売上496枚分から増版経費を差し引いた額+募金)を大船渡市役所へ

¥200,000(CD売上200枚分)を大船渡市観光物産協会へ寄付。

2011年9月 第三回さんりく・大船渡さんまつり in 東京タワー

2012年3月 大船渡つばきまつり出演

2012年3月 ¥308,800(CD売上407枚分から増版経費を差し引いた額+募金)を大船渡市役所へ

¥200,000(CD売上200枚分)を大船渡市観光物産協会へ寄付。

2012年5月 碁石海岸観光まつり出演

2012年8月 ¥50,000(CD売上50枚分)を大船渡市役所へ ¥50,000(CD売上50枚分)を大船渡市観光物産協会へ寄付。

2012年8月 大船渡夏祭り出演

2012年9月 第四回さんりく・大船渡さんまつり in 東京タワー

2012年10月 大船渡さんまつり

¥80,000(CD売上80枚分)を大船渡市役所へ ¥80,000(CD売上80枚分)を大船渡市観光物産協会へ寄付。

2013年3月 東日本大震災二周年大船渡市犠牲者追悼式 献歌

¥98,000(CD売上98枚分)を大船渡市役所へ ¥98,000(CD売上98枚分)を大船渡市観光物産協会へ寄付。

2013年7月 全国商工会議所観光振興大会2013inいわて出演/椿リップクリームプレスリリースにて演奏

「ひまわりのおか」読み聞かせ会出演/XUXUっべし講座 in 渋谷

2013年8月 大船渡夏祭り出演/XUXUっべし講座 in 秋津/大船渡・蒲田水産さんまつり出演

2013年9月 客船ぱしふいっくびいなす三陸復興クルーズ / 大船渡さんまつり

XUXUっべし講座 in 東京タワー / 第五回さんりく・大船渡さんまつり in 東京タワー

2013年11月 ネパリ・バザーロ主催 東北被災地支援セミナー出演

2013年12月 大船渡リアスホールコンサート

2014年3年



大船渡の様々な施設で応援コンサート♪





東京タワーさんままつり、旬の味に長蛇の列 3333匹ふるまう

「三階・大船渡東京タワーさんままつり」は18日、東京都港区の東京タワー特設会場で開催された。大船渡の元気風情と、5人の女性への感謝を込めて今年も約3000匹のさんまがふるまわれた。さんままつりは、日本を代表する観光名所「東京タワー」で、大船渡産に特選された新鮮なさんまや市内特産品をPRし、水産、観光都市「大船渡」を全国に発信することも目的に、平成21年からスタート。主催は、同まつり実行委、戸田山形市長が実行委の会長を務め、メンバーは市内の行政、観光、水産関係者らで構成。東京都港区、同観光協会が後援し、東京タワーを運営する日本電産が協賛、大日本新聞が協賛した。

戸田市となる今年は、東日本大震災が原因で、水産加工業者や観光施設の多くが被災、同まつりへの影響を懸念する声も出た。うち、実行委員会では震災からの復興活動として、水産業の士気回復を目的として開催した。大船渡や大船渡産PRする「パリ」で知られた三階特設会場で行われた開場式で、戸田市長が「きょうは水産のまち大船渡を祝った。大切な魚、どうぞ存分に新鮮なさんまを味わってほしい」とあいさつ。港区の青年福祉協議会、同観光協会の前田田会長が挨拶の言葉を述べ、アパベのビルド・トゥ・ユースUが大船渡産さんまのPRイベント「さんま」を開催し、会場のムードを高めた。

イベントの目玉となった炭火焼さんまは、高さ333階を誇る東京タワーや三階特設会場「さんま」つなかりで、3333匹を焼きた。炭火焼を伝えた大船渡産や大船渡産加工協会の職員らは、汗を流しながら焼き色鮮やかに仕上げた。会場は長蛇の列ができる盛況で、会場にはおみやげが当たる中、旬のさんまに舌鼓、昨年好評だった大船渡産味噌のさんままで1杯500円で2000杯分消費された。地元飲食店組合が提供した500個限定の「さんま」で焼きた「パーティー」、水産加工品、菓子、農産物も販売した特産品コーナーも、物販でにぎわった。

午後の時から炭火焼さんまの列に並んだ。小東京都大田区の産田銀行さん(66)は、「大船渡産のさんまを以前に食べた大ファンなのだが、きょうは新鮮なさんまが食べられて幸せです。被災した大船渡の方々に代わって感謝も届けたい。元気に大船渡を元気にするために今後もまつりを続けてほしい」と話した。

© 2011年09月24日付1面



▲大船渡産さんまの焼きたり場は、大船渡産さんまのふるまひ場。



2012年

震災から1年 活動報告会



2年ぶりのお祭り



2012年9月23日 第4回東京タワーさんままつり→



2013年

東日本大震災二周年大船渡市犠牲者追悼式



大船渡市

「あの日」から2年、悲しみまだ 大船渡で追悼式 遺族ら700人余参列

東日本大震災から2年を迎えた11日、気仙各地で追悼行事が行われた。420人が死亡または行方不明となっている大船渡市では、盛町のリアホールで市主催の追悼式が開かれ、遺族ら700人余りが参列。悲しみのまだ癒えない中、犠牲者の冥福を祈りながら花を手向け、迷いにあるふるさと(明日・復興への誓いを新たに)した。

大船渡市では津波により5534世帯が被災。340人が犠牲となり、80人(はいまだ)行方不明。1700世帯以上が市内に建設された応急仮設住宅などの暮らしを余儀なくされている。

震災から2年を迎えた同日の大船渡は、青空が広がるも冷たい風が吹き付け、時折雷もばらつた。

式は午後2時30分から大ホールで開かれ、来賓や遺族ら約710人が出席。祭壇には「東日本大震災犠牲者之霊」の塔をキクの花で囲んだ祭壇が設けられ、その隣の大スクリーンで政府追悼式の様子が放映された。

同46分に1分間の黙とうをささげ、安倍首相による「教訓を踏まえ、わが国全土にわたって災害に強、強靱な国づくりを進めていくことを固く誓う」とする式辞、天皇陛下の「かけがえのない命を失われた多くの人々と、その遺族に対し、あらためて深く哀悼の意を表します。この苦しみを少しでも分かち合っていくことが大切だとの思いを新たにしています」とするお言葉に耳を傾けた。

引き続き、戸田公明市長は犠牲者を悼みながら「命の重さを知るには大きすぎる代償だった。教訓を胸に刻み、大船渡市を安心安全で災害に強、まちに再生させるため、全力で取り組んで、ことを改めて固く誓う」と式辞。

「追悼のことは」では、長島忠美復興大臣政務官と遠増拓也知事のメッセージを紹介。市議会の畑中幸博議長は、多方面に渡る支援に感謝を寄せながら、住民一人一人となった復興を誓った。

献花では参列者が一人ずつ祭壇に歩み寄り白菊を手向け、犠牲者の冥福を祈った。さんりく・大船渡ふるさと大使の女性ボーカルグループxixixi(しゃしゃ)は献歌として、「camellia〜椿のうた〜」「涙そうそう」「アメージンググレース」の3曲を響かせた。

式後、参列者には鹿儿岛県肝属地区の花き生産者らが提供した切り花が贈られた。大船渡町の熊谷卓夫さん(78)は妻のカノ子さん(70)の申いに、きょういらと参列。「2年はたったが忘れられぬ、いつまでもそうだと想う」と話していた。

2013年03月12日付 1面 東海新報

大船渡海上七夕



船で大船渡へ入港



平成 25 年第 5 回 三陸・大船渡東京タワーさんまつり♪



開会式で「オラ！サンマ！」



ゆりたまちゃんと♪



ほいけんたさんと♪



さんまTシャツでミニLIVE♪



XUXUっペレプロジェクト



直前最終リハーサル♪
エイエイオー！



全国椿サミット♪

2011年3月に開催予定だった大船渡大会が東日本大震災で中止になり、翌年、2012年の萩大会に、萩市の方々が「大船渡からバトンを受け取ったと思っています」とXUXUを大船渡ふるさと大使として迎えてくださり、2013年の沖縄大会では大会に参加されたみなさんから「いつか大船渡でまたサミットができる日まで襷をつなごう」というお声をいただき、今年も松山大会にて「camellia～椿のうた～」をお届けしてきました。

2012年 萩大会



2013年 沖縄大会



2014年 松山大会

